



渡辺 優子
(公明党)

介護サポーター・ポイント制度

質 65歳以上の高齢者が、介護ボランティア活動を行った時、市がその活動を評価してポイント化し、そのポイントで介護保険料や介護サービスの利用料に充てることができるか。

答 介護サポーター・ポイント制度は、19年度から国の地域支援事業交付金の対象事業となり、全国的に広がりつつある。ポイント制度を具体的に導入するとすると、対象となる活動の範囲やポイントの管理方法などさまざまな課題が考えられるので、先進事例も参考にしながら、制度導入の可能性について検討したい。

学校のアレルギー疾患

質 食物アレルギーを持つ子供がふえている。本市小中学校のアレルギー対応食の取り組みは。また、「学校アレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」の具体策を推進すべき。

答 児童・生徒のアレルギーの実態を把握し、施設・設備の整っている調理場において、アレルギー対応食を提供している。また、今後ガイドラインで必要とされているアレルギー対応の環境整備に適切対応していくほか、医師による診断とアレルギー対応委員会の開催による適切なアレルギー対応の実施を検討していく。

その他の質問事項

- ・自転車事業
- ・子育て支援



伊藤 洋文
(よねしろ会)

合併後における市民意識の把握

質 合併を市民はどのように感じているのかを統計や数字で検証し、公開するべきではないか。また、二ツ井地区では特に時間をかけ一体感を醸成する必要があるのではないか。

答 合併後の経済社会環境の急激な変化で、市財政等への明確な効果の説明は困難。旧市町の施策面での濃淡もあり、市民の間で合併の受け止め方が異なることは認識している。二ツ井地域のまちかどミーティングでは、市民の不安やさまざまな意見に答え、引き続き一体感を醸成に努める。

秋田杉の間伐材の利活用と現況

質 地域にチップと角材を一度に成形できる機械を導入し、高齢者を労働力とすることで地域の活性化をはかることになると聞くが、間伐材の集材システムは確立できないか。

答 林地残材の利用は採算性が一番の問題。市では「木材資源利活用促進事業」で採算性を調査しているが、国や県に対する要望事項として秋田スギ間伐材等の有効利用並びに製品開発、林地残材の効率的集荷システム構築への支援を掲げている。今後の国や県の動向を見ながら林業や木材関連産業への支援を図っていく。

その他の質問事項

- ・リサイクルポートの将来
- ・4万トン埠頭の活用のポイント
- ・「金勇」の今後の運営のあり方



庄司 紘八
(市民の声)

地域センターをコミュニティセンターへ

質 鶴岡市の例に学び、地域センターを地域住民に管理運営を委託し、各種証明書の発行や、生涯学習・地域福祉・地域防災等コミュニティ活動の拠点として活動できるように。

答 市では職員定数の適正化と公の施設の見直しについて取り組んでおり、適正な人員配置と公の施設の市民参加による管理運営等について検討している。管理運営に地域住民等がかかわることにより地域コミュニティの活性化等の効果も期待できると考え、地域の受け皿づくりを含め手法等を検討し、取り組んでいきたい。

行政区域見直し

質 もし能代市が本気で「東能代地域まちづくり協議会」のことを考えたら、現在の行政区域と「東能代地域まちづくり協議会」との整合性を図るべきではないか。

答 平成20年1月18日に東能代自治会連合会から行政区域の見直しに関する要望書が提出され、平成20年度にも機軸第6自治会及び仁井田自治会から同様の要望が提出された。このことについては住民の総意が重要と考えており東能代地区及び扇洲地区連名で要望書を提出してもらうことが必要と考えている。

その他の質問事項

- ・能代駅前バス停なぜひとつにできないか
- ・市街地に寄与する「街の駅」構想
- ・のしろの歌「出船コンサート」を